

## 高尾川地下河川築造工事 進捗状況をお知らせします

市内二日市地域を流れる県管理河川の高尾川では、平成26年8月22日の豪雨により大きな浸水被害が発生しました。この豪雨災害を契機に、流域の浸水対策として「高尾川床上浸水対策特別緊急事業」が福岡県那珂県土整備事務所により実施されています。

主要事業の地下河川築造工事は、増水した水を流すトンネルを高尾川の地下に作るもので、昨年8月にトンネルの掘削をするシールドマシンの発進式



急曲線を描く河川に沿ってトンネルを掘削しています

が行われて以降、早期完成を目指して24時間体制で掘削を行っています。現在、約1キロメートルのトンネルのうち約550メートルの掘削が完了しています。

急曲線を描く河川に沿ってトンネルを掘削する工事は全国的にもほとんど例を見ない難しい工事であり、トラブルが発生しないように、部品の交換や、入念な点検作業を行いながら、掘削を進めています。

また、地下河川の水を下流で鷺田川に合流させる流出施設の工事も進めています。



10月、藤田市長が現場を視察しました

## 認知症の人にやさしいまちづくりを RUN伴十がまちをオレンジ色に

認知症の人や家族、医療福祉関係者、今まで認知症の人と接点がなかった人などが一緒にタスキをつなぎ、全国を縦断するイベント「RUN伴十」。

認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色の服などを身にまとい、まちをオレンジ色に染めることで、地域の人と出会いながら認知症について考えるきっかけになれば、と行われています。

「RUN伴十」は、その趣旨に賛同した各地域の団体などが独自性を生かして行うイベントで、筑紫野市では小規模多機能型居宅介護施設「さわやか憩いの家二日市」などを中心とした実行委員会が昨年開始。2回目となる今年10月20日(日)に開催され、約200人の人が参加しました。



1手を取り合い、笑顔で前へ 2「頑張ったね」寄り添う参加者の表情は優しい 3拍手に迎えられゴール

二つのコースに分かれ、元気な小学生は走り、高齢の人は歩くなど、無理をしないように、励ましながら、支え合いながら、スタート地点の「さわやか憩いの家二日市」からゴールの介護老人保健施設「アシスト桜台」までの約2キロメートルを歩きました。

ゴールの後に行われた閉会式では「素晴らしい機会。来年はもっと元気になって参加したい」「若い人の力で認知症の人にやさしい地域づくりを」などの感想がありました。